

令和5年5月

乳白粒防止のため早めに中干しを開始しましょう！

稲の活着は概ね良好です。過剰分けつ防止のため「中干し」は遅れずに実施しましょう。

◆天候と生育に合った水管理の徹底

- 1 稲の活着後または除草剤処理7日後には浅水管理（水深2～3cm）に移行してください。
- 2 田干しや除草剤使用時期以外は浅水とし、入水する場合は夕方か早朝に行ってください。
- 3 低温及び強風時は深水管理してください。
- 4 稲の生育に合わせて中干しを実施してください。

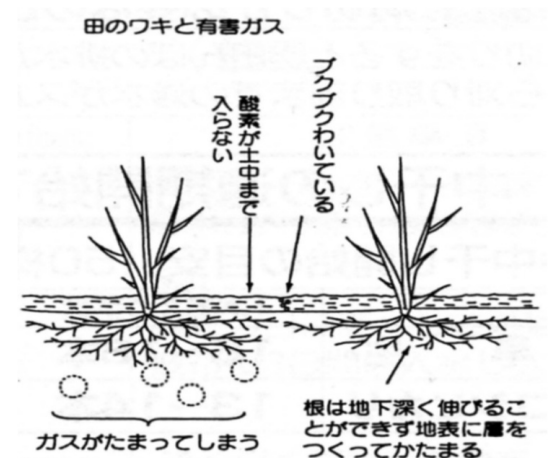
◆田干しの実施

中干しまでに田干しを2～3回行い、ガス抜きをし、根の張りを良くしましょう。

☆ガス抜きについて☆

有機物を施用した圃場や湿田では5月中旬以降、地温の上昇にともない有機物の分解が進み、ガスが発生しやすくなり、根腐れの原因となります。ガスが発生している圃場では、晴天時に田干しを実施し、ガス抜きをする必要があります。

※特に、除草剤（特に中期剤）の散布前には必ずガス抜きを実施してください。



◆中干し（落水）の目安

1 開始時期

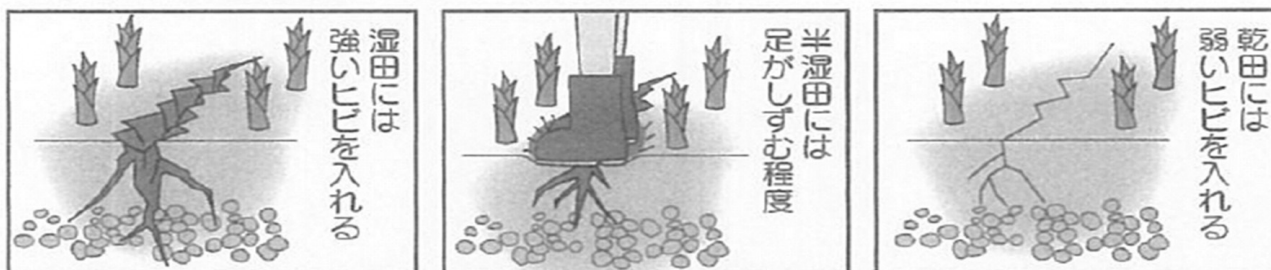
**田植え1ヶ月後
（6月初旬から）**

※ゆめみづほは5月末より開始する。

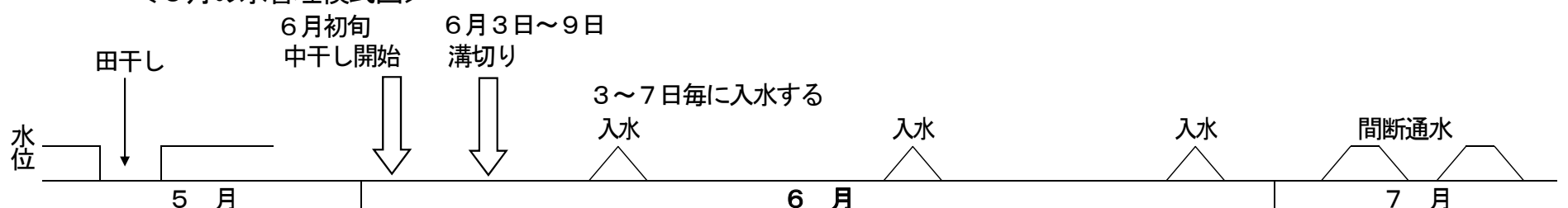
2 1株当たり茎数

**15本（ゆめみづほ）
13本（コシヒカリ）
13本（ひゃくまん穀）**

3 乾湿田別の程度



<6月の水管理模式図>



中干し期間中でも、除草剤は散布できます！

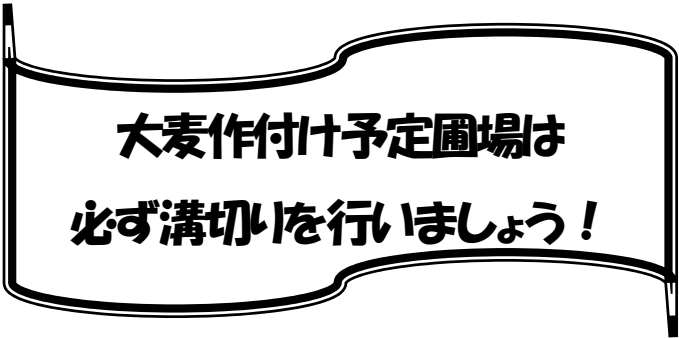
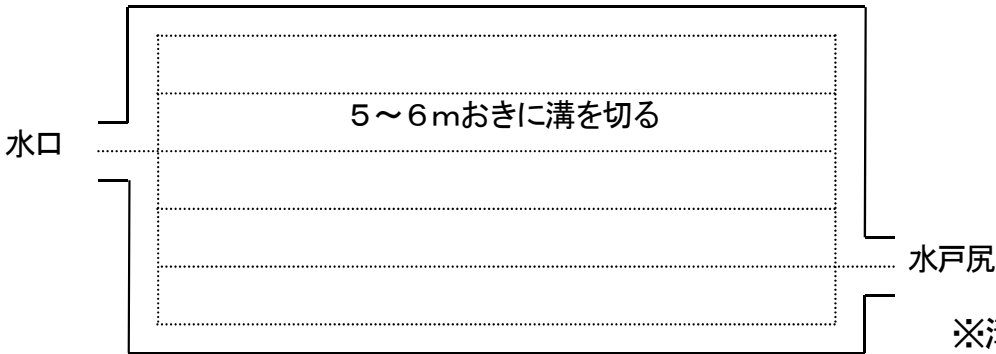
※期間中、一時的に除草剤散布のため入水しても、中干しの効果は得られます。
（散布薬剤については裏面をご確認ください）

中干し・溝切りの効果

1. 無効分けつを抑え、茎を丈夫にする。
2. 節間を縮め、倒伏させない。
3. ガスを抜き、根張りを良くし、根の活力を高める。
4. 通水管理が容易になる。
5. コンバイン収穫に支障がでない。

4 溝切り開始時期の目安
6月3日(土)～9日(金) ※一斉溝切りウィーク!!

5 溝切りで中干し効果が向上・間断通水が容易
【溝切りの方法】



◆残った草の除草対策 ～ 農薬使用後は7日間止め水管理を徹底しましょう ～

処理場面	薬剤名	使用時期	10a 当たり使用量	注 意 事 項
ノビエが目立つとき	クリンチャー 1 キロ粒剤	移植後 7 日～ノビエ 4 葉期 但し収穫 30 日前まで	1 kg	湛水状態（水深 3～5cm）を 7 日間保つ
		移植後 25 日～ノビエ 5 葉期 但し収穫 30 日前まで	1.5 kg	
	クリンチャー EW（液剤）	移植後 20 日～ノビエ 6 葉期 但し収穫 30 日前まで	100ml 水 25～100 リットル	展着剤を加用し、 落水状態で散布する
広葉雑草が目立つとき	バサグラン粒剤	移植後 15～55 日 但し収穫 60 日前まで	3～4 kg	落水後散布 3 日間水を入れない 7 日間は降雨があっても落水しない
	バサグラン液剤	移植後 15～55 日 但し収穫 50 日前まで	500～700ml 水 70～100 リットル	落水後散布 3 日間水を入れない 7 日間は降雨があっても落水しない
ノビエ・広葉雑草がともに目立つとき	レブラス 1 キロ粒剤	移植後 14 日～ノビエ 4 葉期 但し収穫 60 日前まで	1kg	湛水状態（水深 3～5cm）を 7 日間保つ
	クリンチャーバス ME（液剤）	移植後 15 日～ノビエ 5 葉期 但し収穫 50 日前まで	1,000ml 水 70～100 リットル	落水後散布 3 日間水を入れない 展着剤不要

※クリンチャー EW、クリンチャーバス ME、バサグラン液剤は水で希釈して雑草の茎葉に散布する薬剤です。

◆箱施薬していない場合や直播圃場では葉いもち予防を行いましょう。

対象病害虫	使用時期	薬剤名	10a 当たり使用量	備 考
葉いもち	6月10～15日	オリゼメート 1 キロ粒剤	1 kg	湛水状態（水深 3～5cm）で散布し、7 日間止め水管理とする

※補植苗の放置は葉いもちの発生源となります。早急に処分しましょう。

◆珪酸分の施用により稲体の健全化をはかろう。

肥 料 名	施用時期	10a 当たり施用量
珪酸加里プレミア	6月20日頃	30～40kg